

◆まちづくり地域優良事例集◆

南部まちづくりセンター

川尻お寺 de フェスタ



〈取り組みの内容〉

毎年3月の第2日曜日に開催しているイベントで、川尻に点在するお寺を巡りながら、それぞれの境内でワークショップや出店、ステージイベントを楽しむ内容。2021年・2022年は“スピンオフ企画”として、お寺の本堂等のライトアップも。ライトアップにあわせて、クラフトビールやスパイスカレーの出店も行いました。

〈取り組みで工夫にしていること〉

川尻のお寺にはいろんな宗派があって、宗派それぞれの考え方があるので、宗教色を前面に出し過ぎないこと、各々の宗教観をリスペクトし合うこと、に気を付けました。宗派を越えて、連携してイベントをやるのは珍しいんじゃないかなと思います。

それから、校区の人たちと一緒にやるということも大切にしています。町あつての寺、町あつてのイベントですから、常に自治会や商店街とコミュニケーションをとるようにしています。



〈取り組みを始めようと思った経緯・きっかけ〉

川尻では、1月から3月にかけて「かわしり春ものがたり」というイベントを実施していますが、2015年に、その一環で「お寺を使って何かできませんか？」というオファーをいただいたことがきっかけです。西区の本妙寺では「寺フェス」というものが行われていて、同じような取組みを川尻でもできないかと思って。

“お寺”って、法事でもない限り行かないイメージが強いですね。少し遠い存在というか。そんなイメージを変えたい！ ということで、この活動を始めることにしました。川尻校区には17のお寺があって、宗派もいろいろですが“町あつての寺”という想いをひとつに、宗派の垣根を越え、仲間を集めてスタートしました。町に恩返しをしたいというのはもちろんですが、川尻に住む人を増やしたいという想いもありました。



川尻お寺 de フェスタ実行委員会
代表 金井 俊行 さん

〈今後の目標・課題〉

他の取組みとも協同して、ゆくゆくは“南区フェスタ”にしたいですね。観光客が増えれば経済効果が生まれる。京都は神社やお寺が主な観光地だし、東京でも浅草寺は一大観光地となっています。お寺には、それだけ魅力があるということですね。校区にある多くのお寺を生かさない手はないと思います。また、川尻を含む南区の様々な魅力を存分に発信できるようなものにしていきたいです。